

事業所自己評価及び第三者評価等についての報告

今年度も事業所自己評価を六月末に実施致しました。その報告をさせていただきます。併せて、第三者評価・外部評価・第三者委員の設置が出来ていない事をご報告させていただきます。

事業所自己評価における課題を記載いたします。

1. 障がいのない子どもと活動する機会が少ない

外出時に公園や図書館等、公共の場所に行った時には一緒に遊んだりする場面もあります。今後も自然な形での交流を考えています。

2. 地域及び他部門との連携の希薄さ

児童の活動として地域行事への参加は行ってまいりましたが、事業所の方に地域の方々に来ていただく等積極的な活動は出来ておりません。保護者懇親会でのバザーの取り組みや農地での活動の中、地域との連携を強めていきたいと考えます。学校や相談支援事業所をはじめとする様々な障がいサービスの事業所との関係も増えてまいりましたがまだまだ十分とは言えないと考えております。地域・医療・福祉との連携をより一層強化出来るように努めてまいります。

3. 第三者委員・外部評価・第三者評価について

現在、上記三点が行えておりません。社会福祉の観点から考えても、外部の評価は大切なものと捉えております。昨年からの課題として重要なものだと感じております。設置でき次第ご報告させていただきます。

今後とも職員一同より充実した支援が出来る様に一層の努力をしてまいります。

2019年保護者向けアンケートにつきましては、10月実施・12月掲載を予定しております。

ご指導ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。

株式会社 ケー・エム・シー
代表取締役 小泉 義章